
The motive of a crime

雲崎朝成

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

The motive of a crime

【Nコード】

N7764A

【作者名】

雲崎朝成

【あらすじ】

人が人を殺す理由。それは自分で考えている以上に単純で残酷なものにあふれている。

どうやら俺は、松山カオリ（21）を殺しちまったらしい。ただ、カオリを殺した記憶つてのがさっぱり無いのも事実だ。一体なんでこんなことになっちまったんだ？

とまあ、重要参考人・俺、はこんな調子だし、もう1人の重要参考人もち、カオリなわけなんだが、は、長い間押し入れの中にぶち込んで、久しぶりに引っぱり出してきたテイベアみたいに、トイレの扉の前でぐったりしている。一応脈なんかもとってはみたけど、俺が期待してたような反応はなかった。

俺が、カオリを、殺した、のはどうしようもなくマジなんだ。

となれば、俺が取るべき、ってより残された道は2つ。

大人しく自首するか、それとも死体を隠してバックレるか。

俺はとりあえず、順当に自首する方をシミュレートしてみた。うん、まあ警察には行くわな。で凶器は、たぶん、トイレの戸で頭をぶつけたんだろ。喧嘩か、なんかしてるうちに俺が突き飛ばしちゃうたりなんかして。

てか、なんで喧嘩したんだろ？動機ってやつも大事だよな。

えっと、俺がまず浮気相手のことを話して…で、カオリがキレちゃって、って、これだと俺が殺されるなあ。

じゃあ、逆に、カオリが浮気してたことを話して、で、俺がキレて…

俺、器ちっさ！自分のこと棚に上げて、キレちゃってんのかよ。これも違うな。うっわ、自首なんかしたらボロボロだぞ。自首するのはまずいな。死体を隠す方でなんとかするか！

でも、隠すとしても、人1人抱えてうるうるすんのはまずいから、
なんとか小さくまとめる方向でなんとかしなきゃだな。

で、後は山奥あたりに隠すつてのが王道だろ。今日は 日曜だし、
時間あるし。

俺はこれからの方向性が定まると、クローゼットの奥からノコギリを取り出してきた。学祭の準備の時に使ったつきり、お目にかかってないが、さびぢやないらしい。

俺はカオリを風呂場まで引っ張っていくと、倒れないように、浴槽で体を支えるように置いた。

俺は、カオリの首筋にノコギリをあてた。

白くて、細い首だった。

ノコギリをゆつくりと、力強くひいた。

思いもかけず大量の血しぶきが上がって、俺のTシャツは真っ赤に染まった

「 という、恋人をノコギリで殺傷した、凄惨な事件なのですが、片岡さんはどのようにお考えですか？」

「 ええ、おそらくは痴情のもつれ、計画性のない、突発的な犯行だと思えますね、ええ」

「 はい。では、続いてのニュースは 」

(後書き)

初作品です。何か伝わるものがあれば、と思います。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7764a/>

The motive of a crime

2011年1月18日14時49分発行